

プログラマブルターミナル NA シリーズ

活用ガイド

NJ/NXTトラブルシュータ 初級編

形 NA5-15W□□□□

形 NA5-12W□□□□

形 NA5-9W□□□□

形 NA5-7W□□□□

Practices
Guide

■ はじめに

本誌は、NA の画面作成の際に参考となる内容を記載しており、安全上の要点などは掲載しておりません。
実際のご利用にあたっては必ずプログラマブル ターミナル NA シリーズのユーザーズマニュアルをお取り寄せいただき、安全上の要点など、ご使用の際に必要な内容をお読みいただき、十分に動作確認を行った上でご使用ください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 商標の使用
 - ・ Sysmac は、オムロン株式会社製 FA 機器製品の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ Windows、Visual Basic、Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ その他、記載されている会社名と製品名などにつきましては、各社の登録商標または商標です。
 - ・ スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。
 - ・ 本誌で使用している製品写真や図にはイメージ画像が含まれており、実物とは異なる場合があります。

ご承諾事項

「当社商品」について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。

● 定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- ・「当社商品」:「当社」の FA システム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- ・「カタログ等」:「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含まれます。
- ・「利用条件等」:「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- ・「お客様用途」:「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み、または利用を含みます。
- ・「適合性等」:「お客様用途」での「当社商品」の(a)適合性、(b)動作、(c)第三者の知的財産の非侵害、(d)法令の遵守および(e)各種規格の遵守

● 記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- ・定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- ・参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- ・利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- ・「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

● ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- ・定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- ・お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- ・「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- ・「当社商品」をご使用の際には、(i)定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii)「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii)利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv)「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- ・「当社」は DDoS 攻撃(分散型 DoS 攻撃)、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。お客様ご自身にて、①アンチウイルス保護、②データ入出力、③紛失データの復元、④「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、⑤「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

・「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。

- (a) 高い安全性が必要とされる用途(例:原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及びうる用途)
- (b) 高い信頼性が必要な用途(例:ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
- (c) 厳しい条件または環境での用途(例:屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
- (d) 「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途

・上記の(a)から(d)に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車(二輪車含む。以下同じ)向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

● 保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

・保証期間 ご購入後 1 年間といたします。

(ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。)

・保証内容 故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。

- (a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理

(ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。)

- (b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供

・保証対象外 故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。

- (a) 「当社商品」本来の使い方以外のご利用
- (b) 「利用条件等」から外れたご利用
- (c) 本ご承諾事項「ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
- (d) 「当社」以外による改造、修理による場合
- (e) 「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
- (f) 「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因

(g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因(天災等の不可抗力を含む)

● 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。

「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

● 輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

目次

ご承諾事項	3
関連マニュアル	6
1 NJ/NX シリーズトラブルシュータ概要	7
2 NJ/NX シリーズトラブルシュータ機能	8
2-1 コントローラ異常とユーザ異常	8
2-2 発生中異常とイベントログ	8
2-3 ユーザイベント登録	9
3 各異常画面の説明	11
3-1 発生中異常	11
3-2 イベントログ	15
4 NJ/NXトラブルシュータの起動方法	19
改定履歴	20

関連マニュアル

本資料に関連するマニュアルは以下の通りです。

Man.No.	形式	マニュアル名称
SBCA-470	形 SYSMAC-SE2□□□	Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル
SBSA-545	形 NA5-15W□□□□ 形 NA5-12W□□□□ 形 NA5-9W□□□□ 形 NA5-7W□□□□	プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル ハードウェア編
SBSA-546	形 NA5-15W□□□□ 形 NA5-12W□□□□ 形 NA5-9W□□□□ 形 NA5-7W□□□□	プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル ソフトウェア編
SBSA-547	形 NA5-15W□□□□ 形 NA5-12W□□□□ 形 NA5-9W□□□□ 形 NA5-7W□□□□	プログラマブルターミナル NA シリーズ ユーザーズマニュアル デバイス接続編
SBSA-548	形 NA5-15W□□□□ 形 NA5-12W□□□□ 形 NA5-9W□□□□ 形 NA5-7W□□□□	プログラマブルターミナル NA シリーズ 導入ガイド

1 NJ/NX シリーズトラブルシュータ概要

トラブルシュータ機能は、NJ/NX シリーズの CPU ユニットの異常監視機能を使って、CPU ユニットなどの「コントローラ異常」をNA本体上に表示する機能です。

トラブルシュータ画面は NA 本体システムにインストールされていますので、従来のアラーム画面のように NA の作画ツール (Sysmac Studio の NA 側での設定) でのアラームに関する作画等は一切不要です。また、「ユーザ異常」に表示される内容は予め Sysmac Studio の「イベント設定」に登録しておきますので、NA 側ツールでのアラーム設定も不要です。

＜NAシリーズ NJ/NXトラブルシュータ＞

日時	重要度	発生源	イベントコード	イベント名
2015/06/30 16:28:48	一般情報	EtherNet/IP - 通0x94050000		リンクオン検知
2015/06/30 16:28:10	一般情報	EtherNet/IP - 通0x94080000		IPアドレス決定
2015/06/30 16:28:10	監視情報	EtherNet/IP - 通0x84060000		リンクオフ検知
2015/06/30 16:28:10	一般情報	PLC	0x90130000	運転開始
2015/06/30 16:28:05	一般情報	PLC	0x90110000	電源投入
2015/06/30 16:27:56	一般情報	PLC	0x90120000	電源断
2015/06/30 16:26:49	監視情報	EtherNet/IP - 通0x84060000		リンクオフ検知
2015/06/30 16:20:43	一般情報	EtherNet/IP - 通0x94050000		リンクオン検知

Buttons: 戻る (Back), 詳細表示 (Details), スクリーンショット (Screenshot), ファイル保存 (Save File), クリア (Clear).

At the bottom: RUN | NJ_1 (192.168.250.1)

Sysmac Studio にも、NA本体とおなじトラブルシュータ機能があります。
[ツール]－[トラブルシュータ、イベントログ]にて下記トラブルシュータが表示されます。

＜Sysmac Studio トラブルシュータ＞

イベントID	日時	重要度	発生源	発生源詳細	イベント名	イベントコード
0080	2015/06/30 16:28:48	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオン検知	0x94050000
0079	2015/06/30 16:28:10	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	IPアドレス決定	0x94080000
0078	2015/06/30 16:28:10	監視情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオフ検知	0x84060000
0077	2015/06/30 16:28:10	一般情報	PLC		運転開始	0x90130000
0076	2015/06/30 16:28:05	一般情報	PLC		電源投入	0x90110000
0075	2015/06/30 16:27:56	一般情報	PLC		電源断	0x90120000
0074	2015/06/30 16:26:49	監視情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオフ検知	0x84060000
0073	2015/06/30 16:20:43	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオン検知	0x94050000
0072	2015/06/30 16:20:42	監視情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオフ検知	0x84060000
0070	2015/06/30 16:13:20	一般情報	PLC		運転開始	0x90130000
0069	2015/06/30 16:13:20	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオン検知	0x94050000
0068	2015/06/30 16:13:18	監視情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオフ検知	0x84060000
0067	2015/06/30 16:13:18	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	IPアドレス決定	0x94080000
0066	2015/06/30 16:12:54	一般情報	PLC		運転停止	0x90140000
0065	2015/06/30 16:01:00	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオン検知	0x94050000
0064	2015/06/30 16:00:42	監視情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオフ検知	0x84060000
0063	2015/06/30 16:00:42	一般情報	EtherNet/IP	通信ポート	リンクオン検知	0x94050000

Buttons: 表示切替 (Switch Display), 更新 (Update), 印刷 (Print), 保存 (Save), クリア (Clear).

At the bottom: 85 件のイベントがあります。 最終読み出し日時は 2015/06/30 18:01:33 です。

2 NJ/NX シリーズトラブルシュータ機能

トラブルシュータ機能では、「ユーザが定義した異常」と「コントローラ部および内蔵デバイス各部で発生した異常」やイベントログの内容とその処置を確認することができます。この機能は接続しているコントローラが NJ/NX シリーズの時のみ利用可能です。

2-1 コントローラ異常とユーザ異常

トラブルシュータ画面では「コントローラ異常」と「ユーザ異常」の発生中異常とイベントログを確認することができます。

1. ユーザ異常・ユーザイベントログ

Sysmac Studio でユーザが定義可能な異常およびイベントログです。トラブルへの対処方法などの詳細情報も設定可能です。

「ユーザ異常発生命令(SetAlarm)」や「ユーザ情報発生命令(Setinfo)」にて発生させた異常や情報を NA 本体で表示します。

表示する異常(イベント)は Sysmac Studio で登録します。(次ページ参照)

NARuntime Ver.1.03 よりユーザ異常画面のみ、あらかじめ用意しておいた画面に詳細表示から切り換えることが可能になります。(NS 同等機能)

2. コントローラ異常・コントローライベントログ

NJ/NX シリーズのコントローラが固定で持っている異常およびイベントログです。

ユーザが編集することはできません。

CPU ユニット、NXシリーズスレーブターミナル、EtherCAT スレーブ、CJ ユニット等の異常をコントローラ側からNAに通知してくれます。

2-2 発生中異常とイベントログ

NJ/NXトラブルシュータ画面を起動すると、以下の画面が表示されます。

発生中異常 内のタブにより「発生中異常」と「イベントログ」に切り換えることができます。

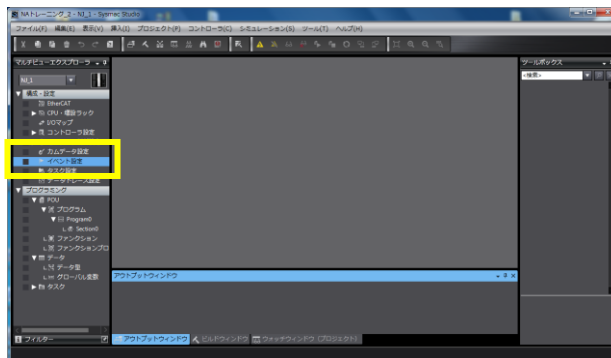


異常がある場合は「Error」、異常がない場合は「Normal」と表示されます。

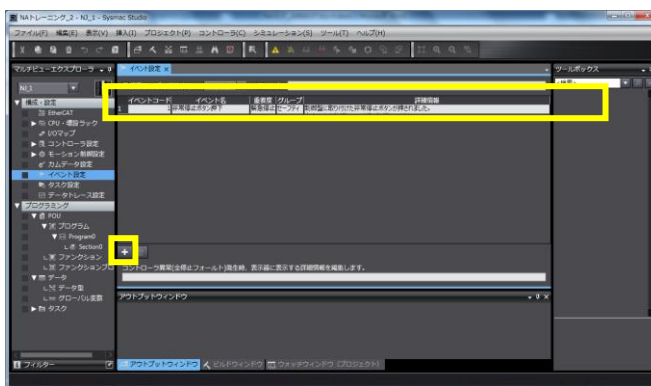
2-3 ユーザイベント登録

ユーザ異常画面で表示する各異常表示内容を、Sysmac Studio(コントローラ NJ/NX 側)で登録します。

1. [構成・設定]-[イベント設定]を選択しダブルクリック(または右クリック→編集)にて「イベント設定」を開きます。



2. イベント設定の左下の $\oplus$ を押下します。
「イベントコード／イベント名／重要度／グループ／詳細設定」の登録が可能になります。
・イベントコード: 1
・イベント名: 非常停止ボタン押下
・重要度: 緊急停止
・グループ: セーフティ
・詳細情報: 制御盤に取り付けた非常停止ボタンが押されました。

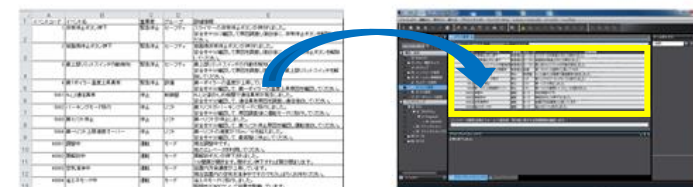


3. 右記のような Excel を作成すれば、Excel から直接コピー&ペーストで「イベント設定」内容を登録することができます。
注)コピー時は各項目(イベントコード／イベント名等の行)はコピーしないでください。

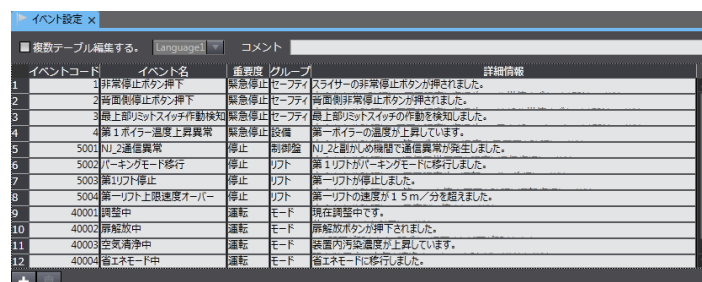
参考 Excel: event.xlsx

イベントコード	イベント名	重要度	グループ	詳細情報
1	非常停止ボタン押下	緊急停止	セーフティ	スライダの非常停止ボタンが押されました。安全を十分に確認して原因を調査し、原因後に、非常停止ボタンを解除してください。
2	背面側非常停止ボタン押下	緊急停止	セーフティ	背面側非常停止ボタンが押されました。安全を十分に確認して原因を調査し、原因後に、外部非常停止ボタンを解除してください。
3	最上部リフトスイッチ作動検知	緊急停止	セーフティ	最上部リフトスイッチの作動を検知しました。安全を十分に確認して原因を調査し、原因後に、最上部リフトスイッチを解除してください。
4	第1ボイラー温度上昇異常	緊急停止	設備	第1ボイラーの温度が上昇しています。安全を十分に確認して、第1ボイラーの温度上昇原因を調査してください。
5001	NJ2通信異常	停止	制御盤	NJ2が通信不能となり、通信異常が発生しました。安全を十分に確認して、通信異常の原因を調査してください。
5002	バーキングモード移行	停止	リフト	第1リフトがバーキングモードに移行しました。安全を十分に確認して、原因を調査し、運転を再開してください。
5003	第1リフト停止	停止	リフト	第1リフトが停止しました。安全を十分に確認して、第1リフト停止原因を調査し、運転を再開してください。
5004	第1リフト上端速度オーバー	停止	リフト	第1リフトの速度が15m/分を超えました。安全を十分に確認して、異常原因を調査してください。
40001	調整中	運転	モード	現在調整中です。
40002	解除中	運転	モード	解除ボタンが押下されました。1分間隔が過ぎます。閉ボタンを押下すれば扉が開きます。
40003	空気清浄中	運転	モード	装置内汚染濃度が上昇しています。現在装置内の空気を洗浄中です。しばらくお待ちください。
40004	省エネモード中	運転	モード	省エネモードに移行しました。照明S208がオフにて減量を稼働しています。

4. Excel の内容をコピーし「イベント設定」にペーストします。

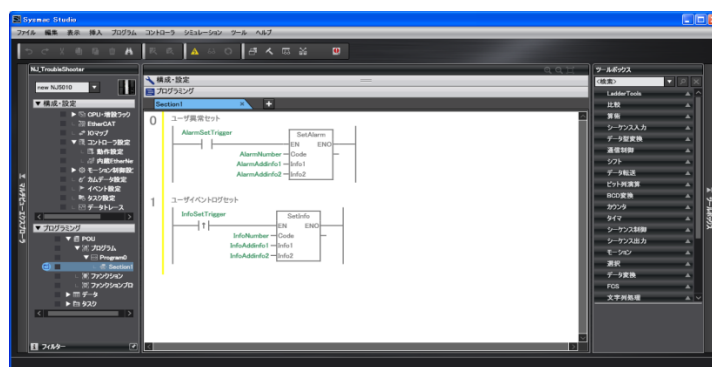


5. Excel の内容が「イベント設定」に貼り付きました。

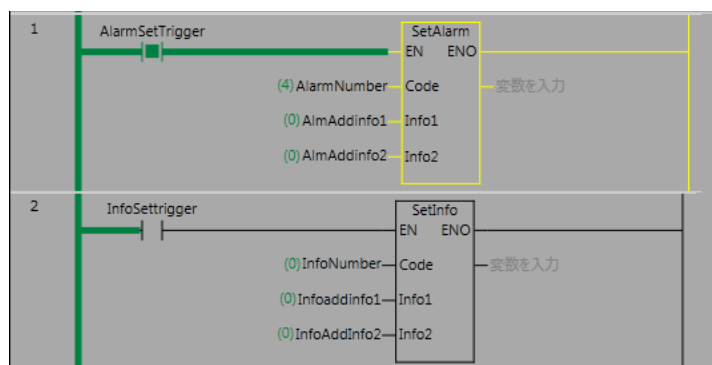


6. ユーザイベントの発生は「ユーザ異常発生命令(SetAlarm)」や「ユーザ情報発生命令(SetInfo)」にて発生させます。

参考プロジェクト: NA_Trouble.smc2



7. 「イベント設定」で設定した「イベントコード」番号を AlarmNumber／InfoNumber にセットし AlarmSettrigger／InfoSettrigge を True にすると、該当の異常がNAに表示されます。



3 各異常画面の説明

3-1 発生中異常

現在発生している「コントローラ異常」と「ユーザ異常」を表示します。

異常が発生している場合は「Error」を表示します。

正常時は「Normal」を表示します。

The screenshot shows the 'NJ/NX トラブルシュータ' (NJ/NX Troubleshooter) window. The title bar includes the date and time '2015/06/30 7:13:40' and a '終了' (End) button. The main area has two tabs: '発生中異常' (Active Abnormalities) and 'イベントログ' (Event Log). The '発生中異常' tab is active and contains a table with three columns: 'コントローラ' (Controller), 'コントローラ異常' (Controller Abnormality), and 'ユーザ異常' (User Abnormality). The table has one row for 'NJ_1', showing 'Error' in red for the controller and 'Normal' in green for the user. Below the table, there are two buttons: 'コントローラ異常表示' (Show Controller Abnormalities) and 'ユーザ異常表示' (Show User Abnormalities), which are highlighted with a red rectangle. At the bottom, there is a status bar with 'RUN' and 'NJ_1 (192.168.250.1)'.

コントローラ	コントローラ異常	ユーザ異常
NJ_1	Error	Normal

コントローラ異常表示 ユーザ異常表示

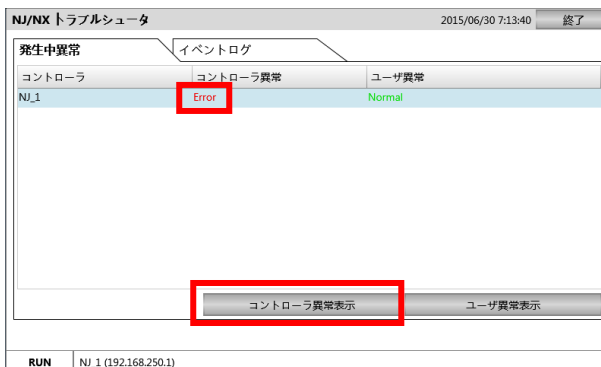
RUN NJ_1 (192.168.250.1)

現在発生している異常内容を確認する場合は、コントローラを選択(水色に反転)し、画面右下にある「コントローラ異常表示」または「ユーザ異常表示」を押下します。

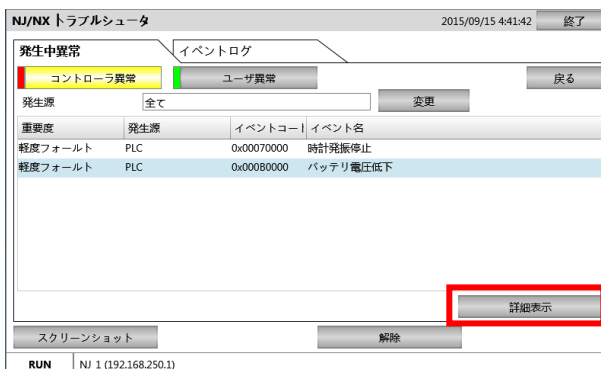
発生中異常－コントローラ異常表示

「発生中異常」画面にて「コントローラ異常」表示が **Error** の場合、コントローラ側に異常が発生しています。以下の方法で発生している異常を確認できます。

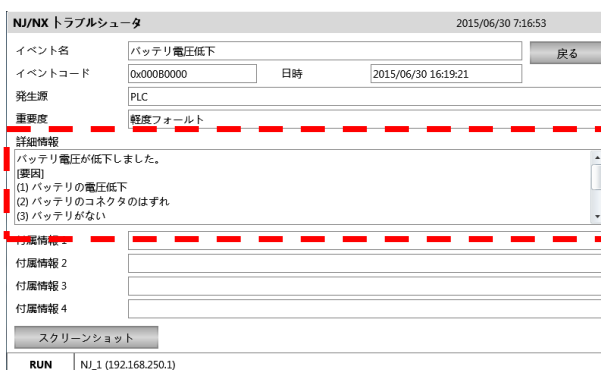
1. 「発生中異常」画面にて「コントローラ異常」に **Error** を表示している場合、画面下側にある「コントローラ異常表示」ボタンを押下します。



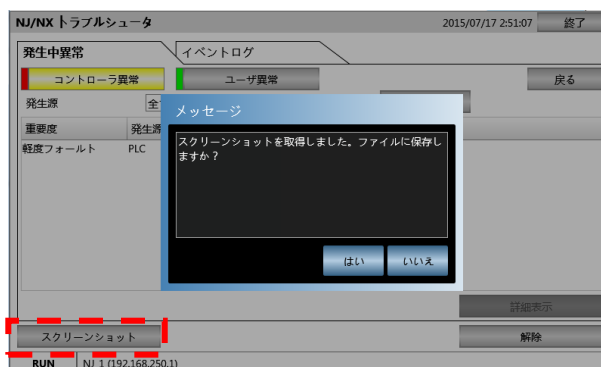
2. 「コントローラ異常」画面に切り替わります。現在発生しているコントローラ異常が一覧で表示されますので、確認したい異常を選択し画面右下の「詳細表示」を押下します。



3. 2項で選択した「コントローラ異常」詳細が表示されます。表示されている「詳細情報」からトラブルの復旧が可能です。



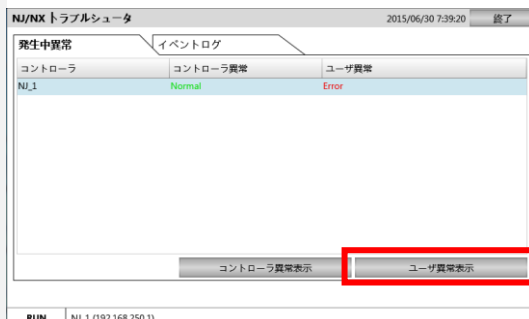
4. 2項、3項にて「スクリーンショット」ボタンを押下すると現在表示している画面をSDカードに保存できますので、不具合報告書に画像を添付することが可能です。SDカードが挿入されていない場合、右記画面で「はい」を押下すると以下のメッセージが表示されます。「スクリーンショットの保存に失敗しました。保存メディア'SDCard'が見つかりませんでした。」



発生中異常－ユーザ異常表示

「発生中異常」画面にて「ユーザ異常」表示が **Error** の場合、3-3-5 項にて作成した異常が発生しています。以下の方法で発生している異常を確認します。

1. 「発生中異常」画面にて「ユーザ異常」に **Error** を表示している場合、画面下側にある「ユーザ異常表示」ボタンを押下します。



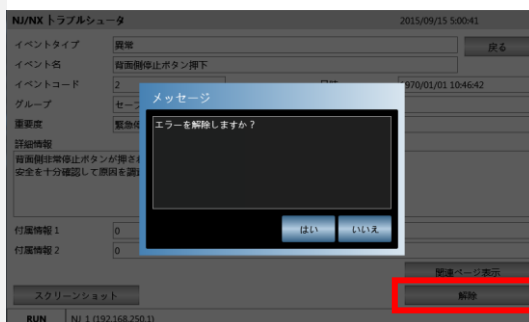
2. 「ユーザ異常」画面に切り替わります。現在発生しているユーザ異常が一覧で表示されますので、確認したい異常を選択し画面右下の「詳細表示」を押下します。



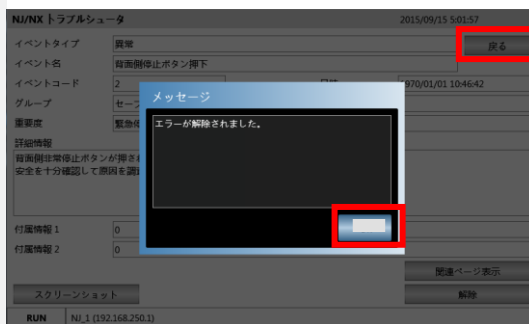
3. 2 項で選択した「ユーザ異常」詳細が表示されます。表示されている「詳細情報」からトラブルの復旧が可能です。また、「関連ページ表示」ボタンを押下すると Sysmac Studio で作成したトラブル関連のページにジャンプすることができます。詳細は P14-7~9 項参照下さい。



4. 「ユーザ異常」の場合、NA のトラブルシュータ画面上の「解除」ボタンにて発生している異常を解除することができます。「解除」ボタンを押下すると、「エラーを解除しますか？」のメッセージが表示されますので「はい」を押下します。



5. 「エラーが解除されました」メッセージを表示しますので、「OK」を押下後画面右上の「戻る」ボタンを押下します。



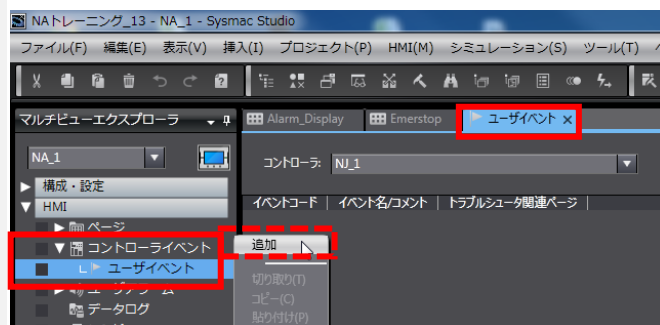
6. 「発生中異常」画面にて、先程解除したエラーが削除されています。



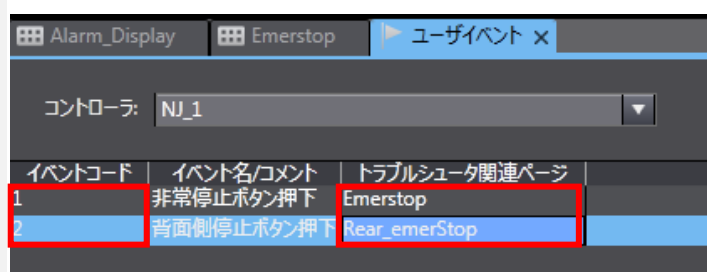
7. 3 項の「ユーザ異常」詳細の「関連ページ表示」を押下すると、Sysmac Studio で作成したページを表示することができます。
表示するページは下記 8 項に記載の [HMI]-[コントローライベント]-[ユーザイベント] で設定します。



8. 「トラブルシュータ関連ページ」を設定します。
[HMI]-[コントローライベント]-[ユーザイベント]を選択し、「ユーザイベント」画面上で右クリック→[追加]を選択します。



9. [イベントコード]欄に関連ページを表示したいイベントコードを追記し、[トラブルシュータ関連ページ]欄に表示したいページを設定します。
[イベントコード]とは P9-5 項の[イベント設定]で設定した[イベントコード]です。



右記設定にて、イベントコード1の[ユーザ異常詳細]画面の[関連ページ表示]を押下すると、Emerstop ページが表示されます。

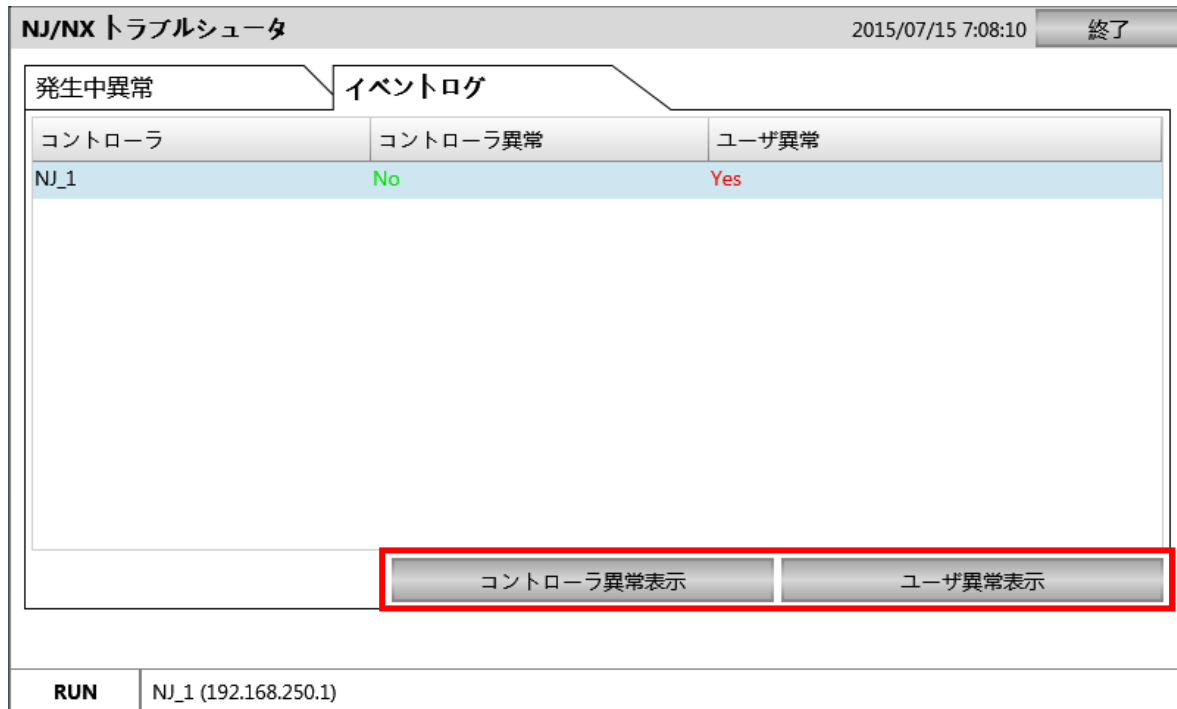
[イベント名/コメント]には P9-5 項で設定した[イベント名]が自動的に表示されます。

3-2 イベントログ

今までに発生した「コントローラ異常」と「ユーザ異常」を表示します。

イベントログがクリアされていない場合は「Yes」を表示します。

イベントログがクリアされている場合は「No」を表示します。



The screenshot shows the 'NJ/NX Troubleshooter' window. The title bar includes the text 'NJ/NX トラブルシュータ', the date/time '2015/07/15 7:08:10', and a '終了' (End) button. The main area has two tabs: '発生中異常' (Active Abnormalities) and 'イベントログ' (Event Log). The 'イベントログ' tab is active, displaying a table with three columns: 'コントローラ' (Controller), 'コントローラ異常' (Controller Abnormality), and 'ユーザ異常' (User Abnormality). The first row shows 'NJ_1' in the controller column, 'No' in the controller abnormality column, and 'Yes' in the user abnormality column. The 'No' and 'Yes' are colored green and red respectively. Below the table, there are two buttons: 'コントローラ異常表示' (Controller Abnormality Display) and 'ユーザ異常表示' (User Abnormality Display), both of which are highlighted with a red rectangular border. At the bottom of the window, there is a status bar with 'RUN' on the left and 'NJ_1 (192.168.250.1)' on the right.

コントローラ	コントローラ異常	ユーザ異常
NJ_1	No	Yes

コントローラ異常表示 ユーザ異常表示

RUN NJ_1 (192.168.250.1)

今までに発生した異常内容を確認する場合は、コントローラを選択(水色に反転)し、画面右下にある「コントローラ異常表示」または「ユーザ異常表示」を押下します。

イベントログーコントローラ異常

「イベントログ」画面にて「コントローラ異常」表示が **Yes** の場合、コントローラ側に今までに発生した異常のログがあります。 以下の方法でログを確認できます。

1. 「イベントログ」画面にて「コントローラ異常」に **Yes** を表示している場合、画面下側にある「コントローラ異常表示」ボタンを押下します。

NJ/NX トラブルシュータ 2015/07/15 7:37:12 終了

発生中異常 イベントログ

コントローラ	コントローラ異常	ユーザ異常
NJ_1	Yes	Yes

コントローラ異常表示 ユーザ異常表示

RUN NJ_1 (192.168.250.1)

2. 「コントローラ異常」画面に切り替わります。今までに発生したコントローラ異常が一覧で表示されますので、確認したい異常を選択し画面右下の「詳細表示」を押下します。

NJ/NX トラブルシュータ 2015/09/15 5:04:50 終了

発生中異常 イベントログ

コントローラ異常 ユーザ異常

フィルタ CPUユニット / システム

日時	重要度	発生源	イベントコード	イベント名
1970/01/01 11:03:45	軽度フォールト	PLC	0x00080000	バッテリー電圧低下
1970/01/01 9:00:09	一般情報	EtherNet/IP - 通	0x94080000	IPアドレス決定
1970/01/01 9:00:09	一般情報	EtherNet/IP - 通	0x94050000	リンクオン検知
1970/01/01 9:00:09	一般情報	PLC	0x00130000	運転開始
1970/01/01 9:00:04	軽度フォールト	PLC	0x00080000	バッテリー電圧低下
1970/01/01 9:00:04	軽度フォールト	PLC	0x00070000	時計発振停止
1970/01/01 9:00:04	一般情報	PLC	0x90110000	電源投入
1970/01/01 9:00:43	一般情報	PLC	0x90120000	電源断

詳細表示

スクリーンショット ファイル保存 クリア

RUN NJ_1 (192.168.250.1)

3. 2 項で選択した「コントローラ異常」詳細が表示されます。表示されている「詳細情報」からトラブルの復旧が可能です

NJ/NX トラブルシュータ 2015/07/15 7:57:51

イベント名 バッテリー電圧低下

イベントコード 0x00080000

日時 2015/07/15 16:22:34

発生源 PLC

重要度 軽度フォールト

詳細情報

バッテリー電圧が低下しました。

(原因)

(1) バッテリーの電圧低下

(2) バッテリーのコネクタのはずれ

(3) バッテリーがない

付属情報 1

付属情報 2

付属情報 3

付属情報 4

スクリーンショット

RUN NJ_1 (192.168.250.1)

イベントログ—ユーザ異常

「イベントログ」画面にて「ユーザ異常」表示が Yes の場合、2-3-5 項(P8)にて作成した異常のログがあります。

以下の方法でログを確認できます。

1. 「イベントログ」画面にて「ユーザ異常」に Yes を表示している場合、画面下側にある「コントローラ異常表示」ボタンを押下します。



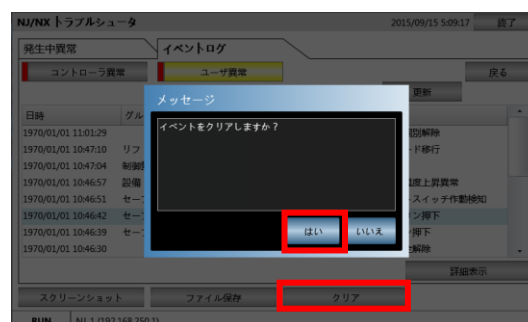
2. 「ユーザ異常」画面に切り替わります。今までに発生したユーザ異常が一覧で表示されますので、確認したい異常を選択し画面右下の「詳細表示」を押下します。



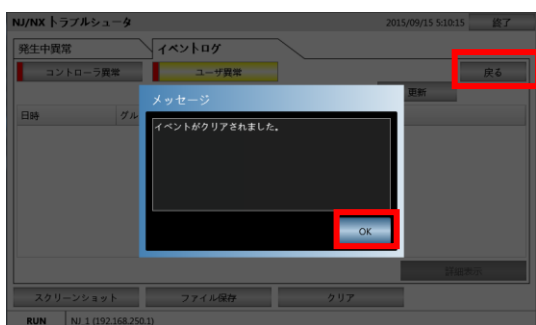
3. 2 項で選択した「ユーザ異常」詳細が表示されます。表示されている「詳細情報」からトラブルの復旧が可能です



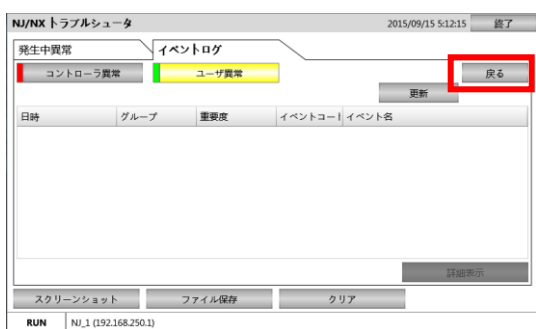
4. 2 項の「ユーザ異常」の一覧表示画面の「クリア」ボタンを押下すると「ユーザ異常」のイベントログをクリアすることができます。「クリア」ボタンを押下すると、「イベントをクリアしますか？」のメッセージが表示されますので「はい」を押下します。



5. 「イベントがクリアされました」メッセージを表示しますので、[OK]を押下後画面右上の「戻る」ボタンを押下します。



6. 「ユーザ異常」画面を表示します。ユーザ異常がクリアされています。「戻る」ボタンを押下し「イベントログ」画面を表示します。



7. 1項で「Yes」であった「ユーザ異常」が「No」に変更されました。



4 NJ/NX トラブルシュータの起動方法

NJ/NX トラブルシュータを起動するには、以下の3つの方法があります。

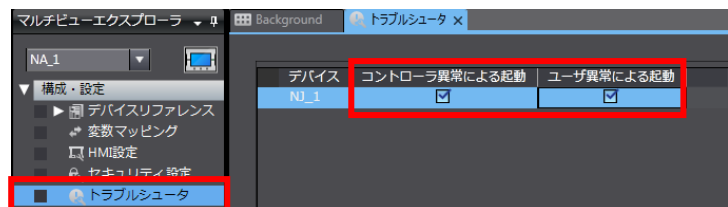
1. システムメニューから「NJ/NX トラブルシュータ」を選択する



2. イベントとアクション」の Actions に「ShowTroubleshooter」を設定した Button を押下する



3. トラブルシュータの動作設定で「ユーザ異常による起動」「コントローラ異常による起動」を選択した状態で異常が発生した場合



改定履歴

改定履歴	改定年月	改定理由・改定ページ
A	2015 年9月	初版
B	2018 年 12 月	ご承諾事項・関連マニュアル変更

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載し、ご使用上の注意事項等は掲載していません。
ご使用上の注意事項、ご使用の際に必要な内容につきましては、必ずユーザーズマニュアルをお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものではありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●製品に関するお問い合わせ先

お客様相談室



クイック オムロン
0120-919-066

携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけませんので、下記の電話番号へおかけください。

電話 **055-982-5015** (通話料がかかります)

■営業時間：8:00～21:00 ■営業日：365日

●FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。

FAX **055-982-5051** / www.fa.omron.co.jp

●その他のお問い合わせ

納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。

オムロン商品のご用命は